

# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

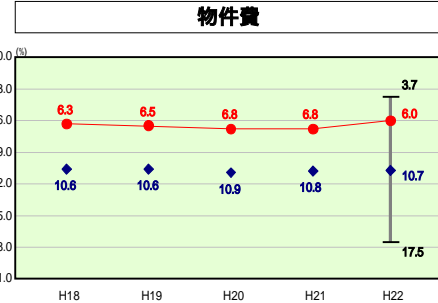
北海道中富良野町

## 経常収支比率の分析

人口	5,572	人(H23.3.31現在)	実収支比率	-	%
面積	108.70	km <sup>2</sup>	実収支赤字比率	-	%
入出総額	4,957,319	千円	実収支公債費比率	14.6	%
歳入	4,827,995	千円	実収支公債費負担比率	39.5	%
歳出	87,655	千円			
標準財政規模	3,090,412	千円	市町村類型	H18 - 0 H19 - 0 H20 - 0	
地方債現在高	6,734,546	千円	(年度毎)	H21 - 0 H22 - 0	

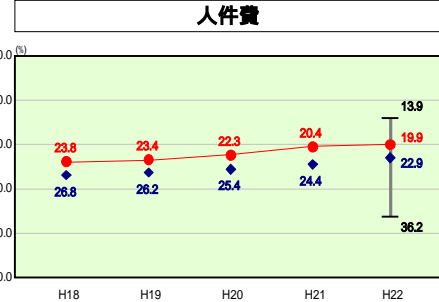
● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
T 類似団体内の最大値及び最小値

市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



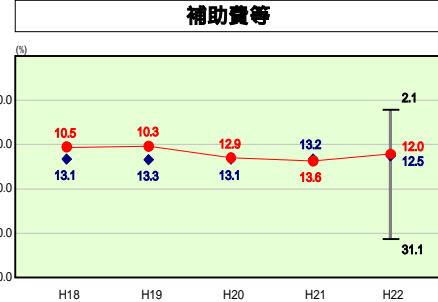
#### 物件費の分析

類似団体平均値と比較すると、物件費にかかる経常収支比率は低くなっており、対前年度比率は0.8%減少している。今後も行政改革の取り組みを通じて義務的経費の削減に努めていく。



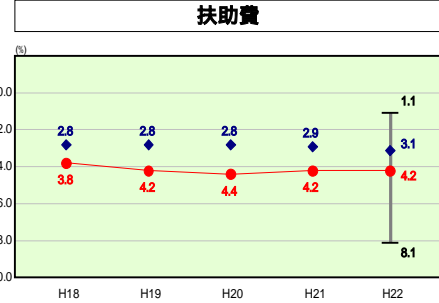
#### 人件費の分析

類似団体平均値と比較すると、人件費にかかる経常収支比率は低くなっており、対前年度比率は0.5%減少している。退職者不補充(新規採用は退職者の2分の1以内)による職員数の減など、行政改革への取り組みを通じて人件費の削減に努めている。



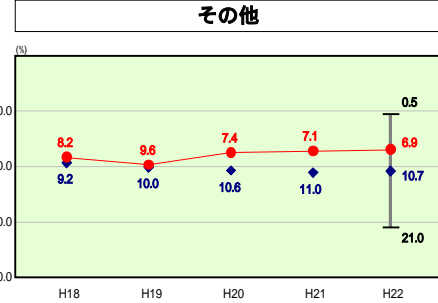
#### 補助費等の分析

類似団体平均値と比較すると、補助費等にかかる経常収支比率は低くなっており、対前年度比率は1.6%減少している。今後も行政改革への取り組みとして、各種団体に対する補助金の見直し等を継続して行っていく必要がある。



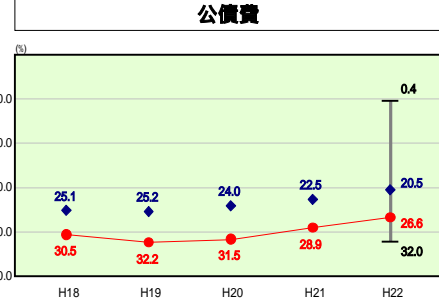
#### 扶助費の分析

類似団体平均値と比較すると、扶助費にかかる経常収支比率は高くなっており、対前年度並みとなっている。要因としては医療給付費・介護給付費等の社会保障費の増加が影響している。



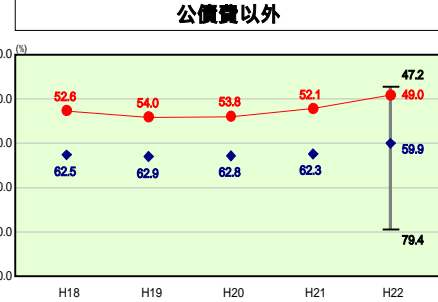
#### その他の分析

類似団体平均値と比較すると、その他経費にかかる経常収支比率は低くなっており、対前年度比率は0.2%減少している。



#### 公債費の分析

類似団体平均値と比較すると、公債費にかかる経常収支比率は高くなっており、対前年度比率は2.3%減少している。元利償還金は平成19年度がピークであり、今後も減少傾向にあると見込まれる。しかし、全国平均と比較し数値が高いことや、臨時財政対策債などの起債償還開始の影響や平成23年度からスタートする「第5期なかむらのまちづくり総合計画」に基づく公債費負担の影響により、数値が上昇することも考えられるため、今後しっかりと見極めていく必要がある。



#### 公債費以外の分析

類似団体平均値と比較すると、公債費以外にかかる経常収支比率は低くなっており、対前年度比率は3.1%減少している。